

## 事前質問一覧(第5回総合計画審議会)

通番	資料番号	該当箇所 見出し等	委員からの質問・意見等	回答	担当 部会	担当課	委員 名
1	5-5	第2章「健康・福祉」 大柱1「地域福祉」	明石市の取り組みについて更生支援ネットワークの構築は困難でしょうか？検討していただきたいと 思います。 年1回の会議からでもよいのでは？	法律により再犯防止推進計画の策定が努力義務になったことから、更生保護については、今後、地域福祉計画の策定の中で検討してまいりたいと考えます。	健康 福祉	福祉相談課	島根 委員
2	5-2	第2章「健康・福祉」 大柱2「子育て支援・青少年育成」	パブリック・コメントについて ページ7 番号24 チャイルドラインは国で、子どもスマイルネットは県ですが、役割分担は、特に明確ではないということでしょうか？	御指摘いただきましたとおり、全国的にはチャイルドライン、県では子どもスマイルネットなどの電話相談を行っていますが、いずれも子ども自身からの相談を受け付けており、家族や学校、虐待など生活全般に関することを取り扱っています。できるだけ身近に、多くの声を聴くことができる体制づくりとして、様々な機関に相談先が開設されており、明確な役割分担はされていませんが、必要に応じて連携しながら相談対応を行っております。	健康 福祉	こども未来課	島根 委員
3	5-5	第2章「健康・福祉」 大柱2「子育て支援・青少年育成」 中柱4「青少年の健全育成の充実」	骨子(修正案)について 関係機関の連携では、定期的あるいは必要時に連絡会議または事例検討会を開催しているのでしょうか？ 実績がありましたら実施回数等を教えていただけませんか？ 今後とも、警察、保健所、児童相談所と連携を推進していただきたいと 思います。 また、児童委員や民生委員、医療機関とも連携を推進していただきたいと 思います。	青少年に関する関係機関の連携につきましては、青少年問題協議会や子ども・子育て会議等において、青少年を取り巻く環境について情報共有や意見交換を行うなど、連携を図っております。 青少年問題協議会は年1回、子ども・子育て会議は年4回実施しております。 今後も、引き続き様々な関係機関と連携を密に取りながら、青少年の健全育成を推進してまいります。	健康 福祉	こども未来課	島根 委員

通番	資料番号	該当箇所見出し等	委員からの質問・意見等	回答	担当部会	担当課	委員名
4	5-5	第2章「健康・福祉」 大柱2「子育て支援・青少年育成」 中柱4「青少年の健全育成の充実」	・最後の段落は、次のように表記した方がよいのではないか。 「また、引きこもりなど、青少年や若者にふりかかっている問題については、家庭・学校・地域等と連携して支援する必要があります。」	御意見を踏まえ、最後の段落について、下記のとおり修正します。 また、引きこもり等の青少年や若者にふりかかっている問題については、家庭・学校・地域等と連携して支援する必要があります。	健康福祉	こども未来課	小林委員
5	5-5	第2章「健康・福祉」 大柱3「高齢者支援」 中柱1「健康で活躍できる地域社会の推進」	「現状と課題」において、後期高齢者の増加傾向に伴い、一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の増加が「考えられる」としているが、「見込まれる」と記述するほうが適切ではないか。 また、このため、「主な取組」としては、「一人暮らし高齢者対策の強化」又は「一人暮らし高齢者に対するアウトリーチ事業の実施」等について、追記すべきではないか。	「現状と課題」の3行目以降について、「介護が必要となる方、認知症の方が増加するとともに、一人暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の増加も『考えられます。』』との表記を、『見込まれます。』に変更いたします。 なお、一人暮らしなどの高齢者に係る取組につきましては、中柱3の「安全・安心な生活ができる環境整備」における主な取組の中の「地域での見守り体制の確立」等に含まれております。	健康福祉	長寿はつらつ課	大門委員
6	5-5	第2章「健康・福祉」 大柱5「保険・医療」 中柱3「地域医療体制の充実」	新型コロナウイルスに感染しているかどうかのPCR検査所の開設の必要性があるのではないか。	PCR検査の必要性は認識しておりますが、PCR検査は、医療従事者や検査機関との体制づくりが必要なため、埼玉県と医師会において体制整備の充実に現在取り組んでおります。	健康福祉	健康づくり課	池田委員

通番	資料番号	該当箇所見出し等	委員からの質問・意見等	回答	担当部会	担当課	委員名
7	5-5	第2章「健康・福祉」 大柱5「保険・医療」 中柱3「地域医療体制の充実」	現下の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う厳しい情勢を踏まえ、「現状と課題」を整理し直すとともに、改めて「健康危機管理体制」の一環として、相談窓口体制等の充実強化を図る取組を推進すべきと考える。 また、これに関連して、職員の在宅勤務をはじめとするテレワークを推進し、非常時の執行体制の整備を図るとともに、BCP(事業継続計画)にもその取組内容を反映させるべきではないか。	感染症は、県や保健所に専門の担当があり、相談対応しているところですが、現状をみましても、今後、市においても、専門知識を有する人材の育成や確保が必要ではないかと考えます。 また、テレワークの仕組みづくりについても、全庁的な大きな課題と考えております。	健康福祉	健康づくり課	大門委員
8	5-2	第4章「環境・コミュニティ」 大柱4「市民活動」	パブリック・コメントについて ページ38 番号110 市民活動支援センターにメルマガ配信のポスターを貼りましょう。	御意見を踏まえ、メルマガ配信のポスターを掲示します。	市民環境	地域づくり支援課	島根委員
9	5-5	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱2「道路交通」 中柱3「良好な交通環境づくり」	シェアサイクルの利用にあたり、新型コロナウイルスの感染が心配なのですが。問題ないでしょうか。	シェアサイクルは三密(密閉空間、密集場所、密接場面)を回避できる移動手段であると考えております。 しかしながら、不特定多数の方に利用される乗り物のため、公共施設のドアノブやボタン等と同様に、自転車のハンドル等からの接触感染のリスクは皆無とも言い難いことから、利用する際のアプリ上において「自転車の御利用前後には、手洗いとうがいを徹底」するよう注意喚起を行っております。	都市建設	まちづくり推進課	池田委員
10	5-5	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱3「緑・景観・環境共生」 中柱4「循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり」	・追加された記述内容は、「環境」と同じことになりかねないので、文中の「地球温暖化防止や」を削除すべきではないか。 「また、追加する場所は、既存の記述(●健全な～)の前に配置した方がよいのではないか。」	御意見を踏まえ、「地球温暖化防止や」を削除するとともに、記述する配置についても変更します。	市民環境	みどり公園課	小林委員
11	5-2	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱6「安全・安心」 中柱1「災害や犯罪に強いまちづくり」	パブリック・コメントについて ページ49 番号148 昨年度実施した空き家の実態調査の結果はパソコン上に公開していますか？ また、県の空き家バンクに載せる予定はありますか？	昨年度実施した空き家等実態調査の結果につきましては、現在、ホームページへの掲載に向けて準備を進めているところです。 また、今後、本市の空き家バンクについて検討したいと考えていますので、県の空き家バンクへの掲載につきましては、本市が空き家バンクを実施する場合に県と調整します。	都市建設	開発建築課	島根委員

通番	資料番号	該当箇所見出し等	委員からの質問・意見等	回答	担当部会	担当課	委員名
12	5-5	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱8「産業の育成と支援」 中柱2「起業・創業の支援」	地域課題に取り組む「コミュニティビジネス」とあるが、活動領域や解決すべき社会的課題について一定の地理的範囲の制約がない「ソーシャルビジネス」も含め、より広い視野に立って支援してはどうか。	御指摘のとおり、社会問題の解決に取り組む「ソーシャルビジネス」の育成は、地域の抱える課題解決に有効な手段だと考えております。「コミュニティビジネス」に限らず、広い視点に立ち、地域課題解決のために有用と思われる産業の育成を支援してまいります。	市民環境	産業振興課	大門委員
13	5-2	第6章「基本構想を推進するために」 大柱2「男女平等」 中柱1「男女平等の意識づくり」	パブリック・コメントについて ページ53 番号166 女性の管理監督者の割合については、目標設定ですか？数値目標を明記して目指しているということではないのでしょうか？	管理監督者(係長級以上)に占める女性職員の割合については、目標として設定しています。	総務	職員課	島根委員
14	5-5	第6章「基本構想を推進するために」 大柱5「行財政」 中柱3「公共施設の効果的・効率的な管理運営」	・他の表記との統一を図るため「検討していくことが課題です」を「検討していく必要があります」にしてはいかがか。	御意見のとおり、「検討していく必要があります。」に修正します。	総務	政策企画課	小林委員
15	5-2	その他	パブリック・コメントについて ページ66 番号196 障害者雇用の実態について職員に占める割合等は教えていただけませんか？	朝霞市職員の障害者雇用率は、令和元年6月1日現在で3.57%となっています。(法定雇用率:2.5%)	総務	職員課	島根委員

通番	資料番号	該当箇所見出し等	委員からの質問・意見等	回答	担当部会	担当課	委員名
16	5-3	その他	職員コメント 資料5-3 番号23 職員のみなさま頑張ってください。	引き続き、市民の皆様の意見を取り入れながら、後期基本計画の策定を進めてまいります。	総務	政策企画課	島根委員
17		その他	会議の方向 ①国の政策 人口減に対してH26年『50年後も人口1億を維持』。そして希望出生率1.8を目標に掲げました。 (現行のままでは、国内経済は縮小、社会保障関連は、維持できない、インフラ面は悪化の一途等々、マイナス面ばかり。)	今後も国及び県の動向を勘案しつつ、引き続き子どもを安心して産み、育てられるためのよりよい環境整備や人口減少を和らげる取組みなどについて幅広く検討してまいります。	総務	政策企画課	平井委員
18		その他	会議の方向 ②あらゆる政策戦略は、「 <u>人口問題が基本のキ</u> 」と思います。これをどうするかで枝葉の戦術がきまると思います。	人口問題の現状を確認し課題を整理した上で、施策を検討してまいります。	総務	政策企画課	平井委員

通番	資料番号	該当箇所見出し等	委員からの質問・意見等	回答	担当部会	担当課	委員名
19		その他	<p>会議の方向 ③人口問題 平成28年2月発行の「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、本市は平成72(2060)年に総人口14.5万人以上を想定し、総合戦略の施策を展開するものとする。(合計特殊出生率1.6)となっています。(朝霞市も20年後には人口減に転じます。)</p> <p>上記は、第5次朝霞総合計画(前期)と同時期に発表されましたので、これを今回の審議会で統合して検討すべきではないでしょうか。</p>	<p>第5次朝霞市総合計画が将来の行政需要やまちづくりの方向性などを総合的、体系的に示している一方、朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略は本市の将来人口の減少に歯止めをかけるために導き出された課題に対応する重点的な施策をまとめたものです。</p> <p>これらの計画は性格が異なるため、統合して検討することは考えておりませんが、整合・連携を図ってまいります。</p>	総務	政策企画課	平井委員